

W 4

タイ王国家族計画・母子保健
プロジェクト
事前調査団
報告書

平成3年2月

国際協力事業団
医療協力部

LIBRARY

医 薬
JR
81-07

タイ王国家族計画・母子保健

プロジェクト

事前調査団

報告書

JICA LIBRARY



1090903(4)

22506

平成3年2月

国際協力事業団

医療協力部

国際協力事業団

22506

序 文

タイ政府は、1970年から国家家族計画政策を実施し、同年3%であった人口増加率は1988年には1.5%まで減少した。

わが国は、1974年から1989年の間、同国の中西部において家族計画分野のプロジェクト方式技術協力を実施したが、その恩恵に浴しない地域はなお広く、地域による格差が著しいのが現状である。

特にタイ東北部は家族計画・母子保健の立ち遅れが見られ、出生率、乳幼児死亡率共に他の地域に比べて高いものとなっている。

このような背景から、タイ政府は東北タイにおける家族計画、および母子保健協力に係る新たな技術協力を要請越した。

わが国は本要請に基づき、1990(平成2)年10月23日から11月2日までの間、事前調査団を派遣した。

本報告書は上記調査団の調査結果をとりまとめたものである。ここに調査団員各位、調査団の派遣にご協力を賜った関係機関の各位に対し深甚なる謝意を表する次第である。

平成3年2月

国際協力事業団

理事 西 野 世 界



コンケン Health Promotion Center
(本プロジェクトの拠点予定機関)



同センター内部

目 次

1. 事前調査団派遣概要	1
(1) 調査団派遣の経緯と目的	1
(2) 調査団構成	2
(3) 行 程	2
2. 調査結果要旨および提言	3
3. 事前調査報告	7
(1) 調査の経過	9
(2) 調査内容	11
4. 別添資料	19
(1) 関連写真	21
(2) 主要面談者リスト	24
(3) Minutes of Meetings	25
(4) タイにおける家族計画概要	31
(5) Health Statistical Report of Ubolratana District	51
(6) プロジェクト方式技術協力要請書	75

1. 事前調査団派遣概要

(1) 調査団派遣の経緯と目的

ア. 要請の背景と経緯

タイ政府は、1970年から国家家族計画政策を実施し、同年3.0%であった人口増加率は1988年には1.5%まで減少した。

家族計画は、国家開発計画においても重点政策の一つとして取り上げており、1996年までに人口増加率を1.2%に縮小することになっている。

わが国は1974年から1989年の間、同国の中西部において家族計画分野のプロジェクト方式技術協力を実施したが、その恩恵に浴しない地域はなお広く、地域による格差が著しいのが現状である。

また、人口問題解決の前提となる母子保健の向上は、今後の大きな課題となっている。特に、タイ東北部は母子保健レベルが低く、家族計画・母子保健の立ち遅れが見られ、出生率、乳幼児死亡率共に他の地域に比べて高いものとなっていることから、タイ国政府は東北タイにおける家族計画および母子保健協力をわが国に要請越したものである。

イ. 要請内容

- ① 協力期間：5年間
- ② 協力先機関：保健省保健局
- ③ 対象地域：東北タイ
- ④ 協力目的：家族計画・母子保健分野の(i)啓発活動の普及、(ii)サービスの向上、
(iii)人材の養成
- ⑤ 協力方法：(i) 専門家派遣
(ii) 供与機材
(iii) 研修員受入

ウ. 調査目的

タイ側の要請内容につき、要請の背景、タイ側の実施計画、国家開発計画におけるプロジェクトの位置づけ、技術協力の目標、および実施体制（人員、予算、組織、関連地域・施設）を調査し、実施の可能性につき検討する。

(2) 調査団構成

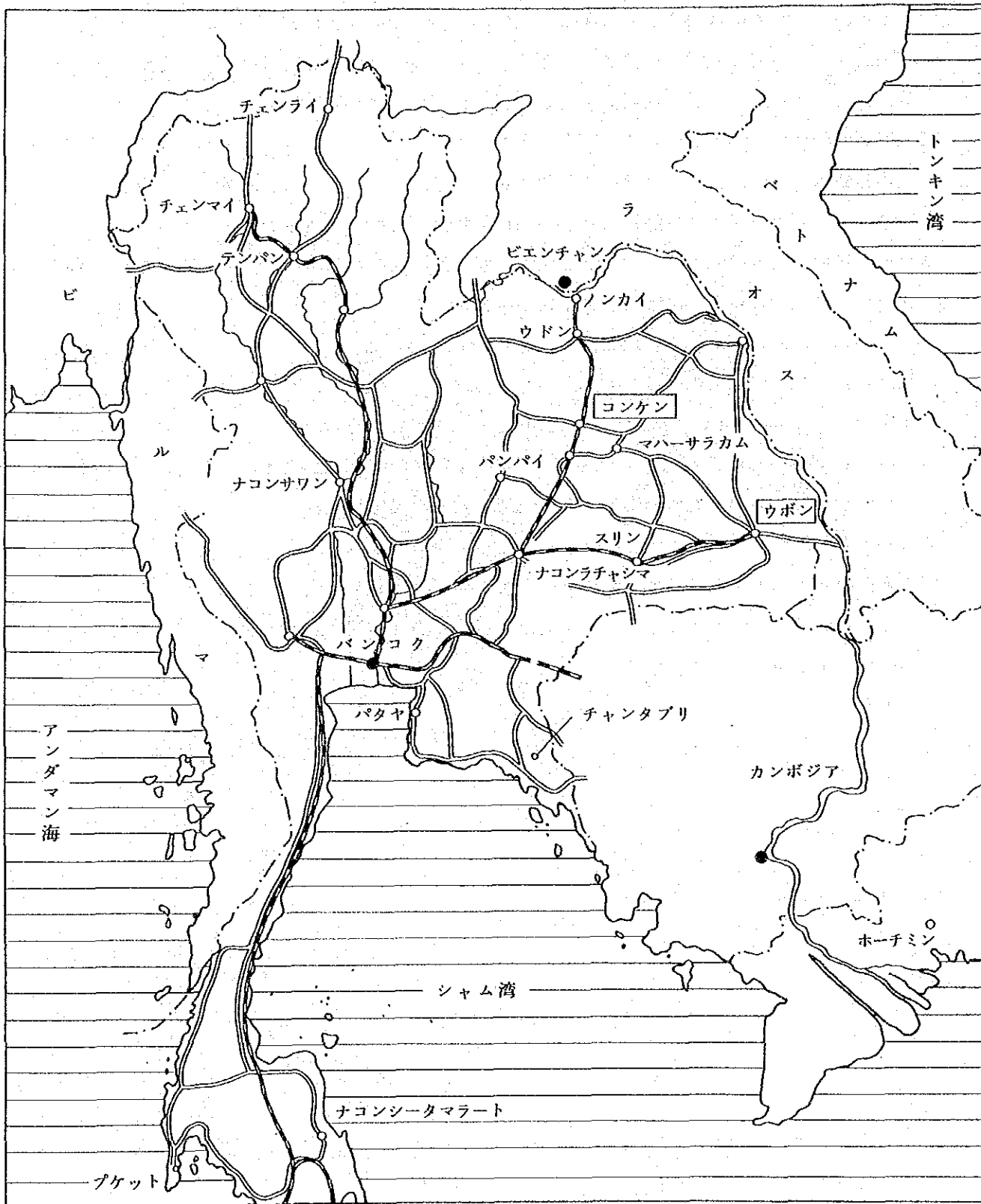
- ・団 長 林 謙治 厚生省国立公衆衛生院保健人口学部長
- ・団 員 丸井 英二 東京大学医学部国際交流室講師
- ・団 員 中川 和夫 J I C A 医療協力部医療協力特別業務室室長
- ・団 員 森谷 裕司 J I C A 医療協力部医療協力特別業務室

(3) 行 程

月 日 (曜日)	日 程
平成 2 (1 9 9 0) 年	
1 0 / 2 3 (火)	東京 → バンコク (林団長、森谷団員出発)
2 4 (水)	J I C A 事務所、D T E C、保健省表敬および打合せ
2 5 (木)	保健省協議
2 6 (金)	コンケン視察
2 7 (土)	} 団内打合せおよび資料整理
2 8 (日)	
2 9 (月)	ウボン視察 (丸井、中川団員東京発バンコク着)
3 0 (火)	保健省と協議
3 1 (水)	保健省と協議、ミニッツ署名
1 1 / 1 (木)	日本大使館、J I C A 事務所に報告
2 (金)	バンコク → 東 京

2. 調査結果要旨および提言

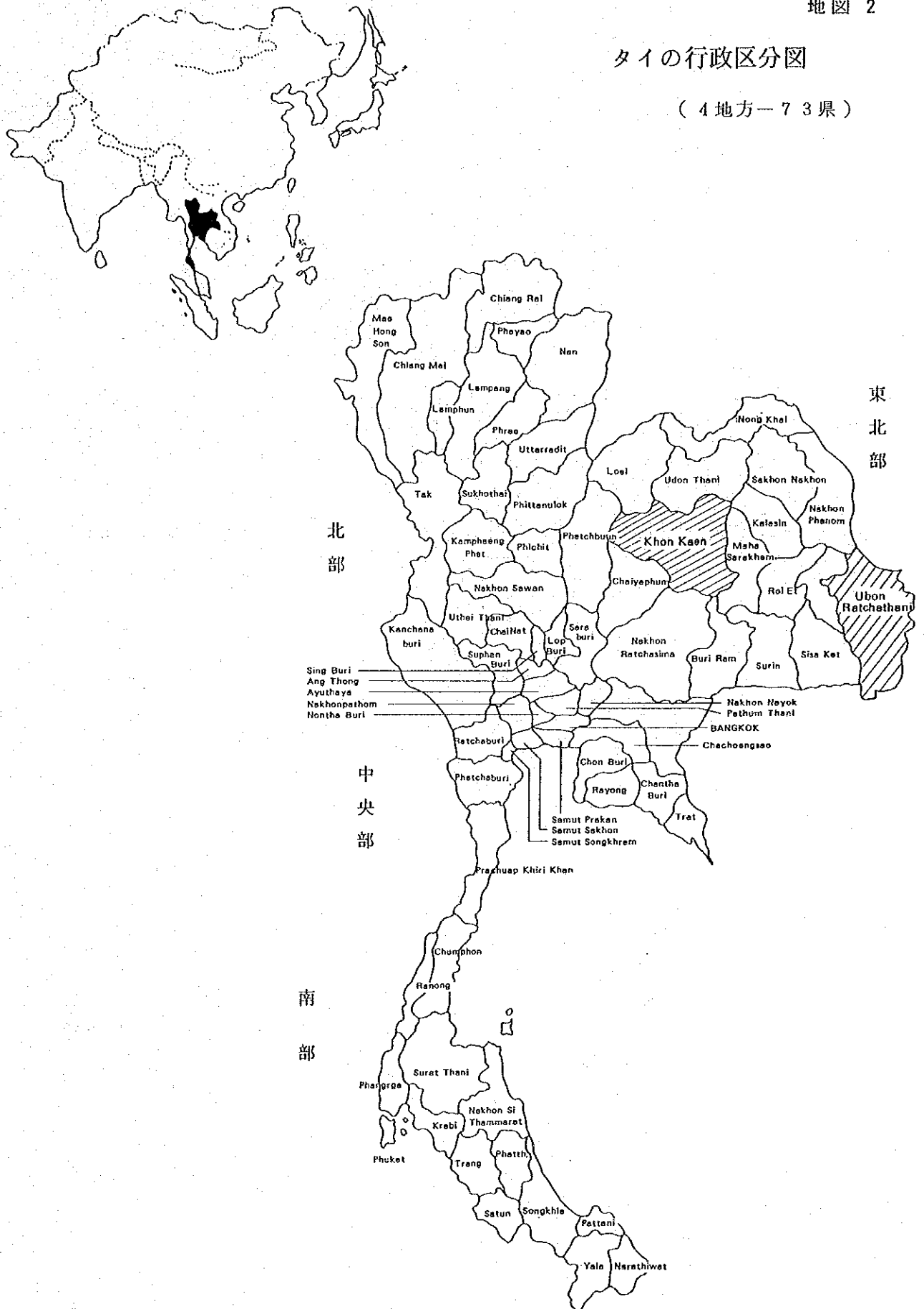
- (1) タイ国における家族計画事業はかなりの成果をあげているものの、地域格差が大きく、本件プロジェクトの協力対象地域である東北タイにおいては引き続き同事業の普及が必要である。
- (2) 同国保健省保健局は、わが方が協力(1974年～1989年)した家族計画プロジェクトの経験があるため、わが方の協力制度を承知していること、および組織、スタッフ等においても本件プロジェクトの受け入れ体制には支障ないものと思料される。
- (3) 協力対象地域に関して、タイ側はコンケンを含む「Region 4」に加えウボンを含む「Region 3」の両地域としたい旨、強く要請越した。
しかしながら、両地域の現地調査の結果、「Region 3」は「Region 4」よりさらに家族計画の普及において遅れており、そのニーズは高いものの、プロジェクトの受け入れ体制が脆弱(ウボンにはHealth Promotion Centerが所在しない等)なため、コンケンのHealth Promotion Centerを拠点(わが方専門家の主たる配属機関)とし、協力の範囲として「Region 3」も含めることとすることが適当と思料される。
- (4) 協力内容については、IEC等を通しての母子保健に重点をおいた家族計画事業とする。
- (5) 上記の通り、タイ国における家族計画・母子保健のニーズが大きく、タイ側関係機関の協力受入体制にも支障ないと思料されるため、可能な限り早期に実施協議調査団を派遣し、協力の取り極めを行うことを提言する。



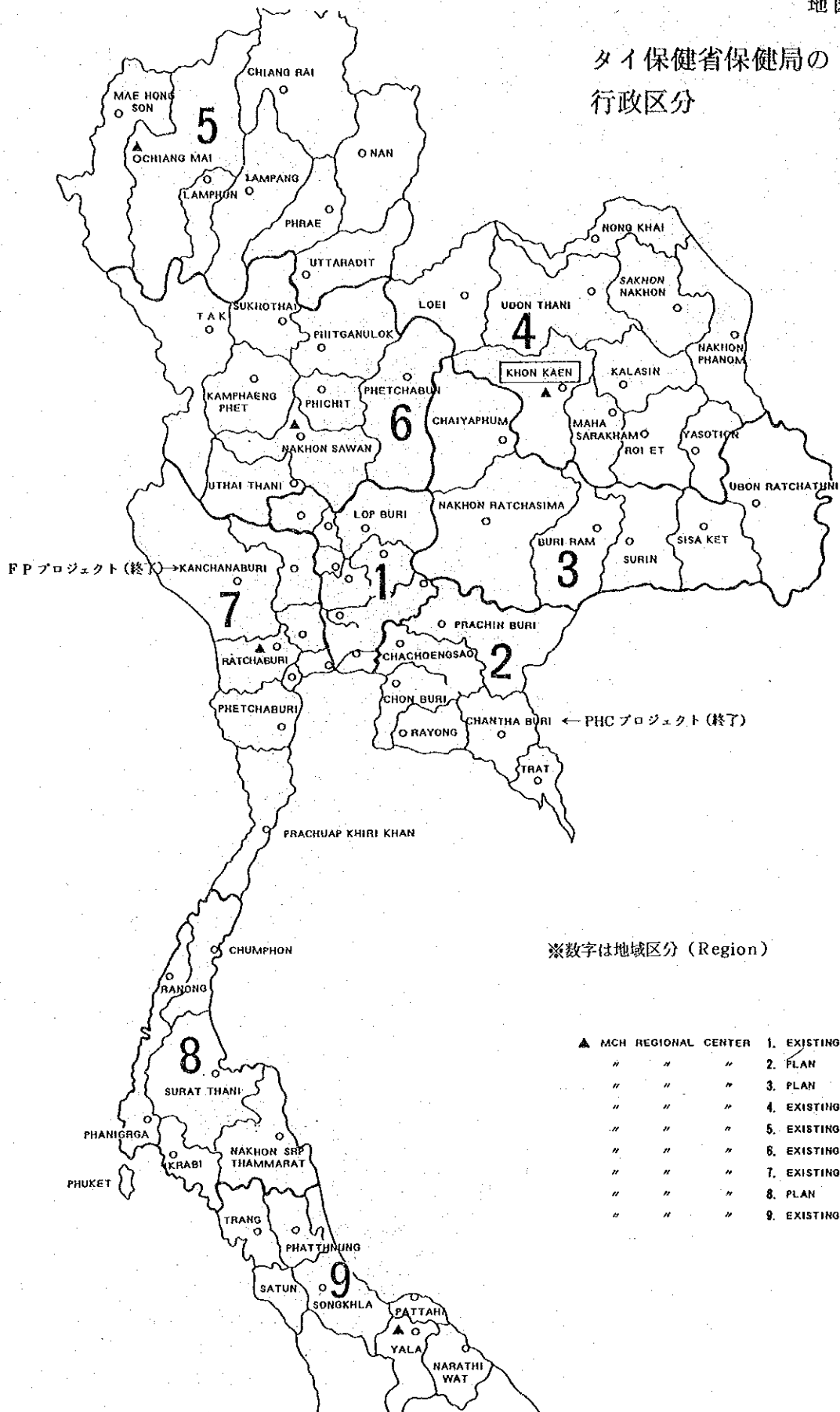
地図 2

タイの行政区分図

(4 地方 - 73 県)



タイ保健省保健局の
行政区分



※数字は地域区分 (Region)

▲	MCH REGIONAL CENTER	1.	EXISTING
"	"	2.	PLAN
"	"	3.	PLAN
"	"	4.	EXISTING
"	"	5.	EXISTING
"	"	6.	EXISTING
"	"	7.	EXISTING
"	"	8.	PLAN
"	"	9.	EXISTING

3. 事前調査報告

(

(1) 調査の経過

平成2年(1990年)

10月23日 (火)

東京発 バンコク着(17:35) JL-717

24日 (水) 午前9時30分 JICA事務所

谷川次長、宮本所員と日程等打合せ

午前11時

総理府技術経済協力局(DTEC)表敬訪問

団長から調査主旨等説明

また、年次協議で承認されている、「PHC」プロジェクトの要請書の提出時期について質問したところ、DTECは保健省から要請書を受け取っておらず提出があれば承認することであった。

午後1時30分

保健省健康局家族健康課表敬

25日 (木) 午前9時30分～午前11時30分

保健省にて協議

夕方バンコク(17:50発)→コンケン(18:50着)移動

26日 (金) コンケン視察

健康増進センターにて活動等のブリーフィング、施設の見学

郡(District)病院、保健所(Health Center)にて活動、実績概要の説明

東北タイ公衆衛生学校訪問

コンケン(19:50発)→バンコク(20:50着)に移動

27日 (土)

28日 (日)

29日 (月)

} 団内打合せおよび資料整理

バンコク(7:00発)→ウボンラチャタニ(8:15着)へ移動

ウボンラチャタニ県衛生部訪問。家族計画セクションにて、ウボンラチャタニの概況説明を受ける。

郡 (District) 病院視察

ウボン→バンコクのフライトがキャンセルになったため、
車にてコンケンへ移動。コンケン (19 : 50 発) →バン
コク (20 : 50 着)

夜、後発の中川、丸井団員と打合せ

30日 (火)

保健省と協議 (出席者 ; Dr. Niyonwan, Director of
Family Health Division, Dr. Auamkul 他および調
査団全員) 本会議では前回の協議、および現地調査結果を踏
まえ総括的な討論とミニッツの取りまとめに係る打合せを
行った。

また、本プロジェクトは公衆衛生プロジェクトとの連携を
計画中であるため、同省の公衆衛生関係部局の担当官も同
席した。

わが方より本プロジェクト実施に係る全般的な考え方、方
法および現地調査に基づく協力内容について説明した。

これに対しタイ側は基本的に合意し、その内容をミニッツ
(別添 3) に取りまとめることとした。

その骨子は以下の通りである。

(1) プロジェクト名 ; 家族計画・母子保健プロジェクト

(2) プロジェクトの目的 ; 家族計画、母子保健活動を強化
することにより東北タイ地域における保健環境の改善

(3) 協力内容 ; 家族計画・母子保健に係る I E C (Infor-
mation, Education, Communication) および医
療サービスの強化と開発

これに必要な人材の養成

(4) タイ側の実施体制 ; 保健省保健局、Health Promo-
tion Center (Region 4、コンケンプロジェクト
サイト)

31日 (水)

午前 ; 保健省とミニッツ取りまとめに係る協議

当方案を若干修正することで前日のラインで合意。タイ
側署名者は保健省保健局 Mungkandi 局長となった。

午後 ; 本プロジェクトとほぼ同時に案件形成が行われて
いる「公衆衛生プロジェクト」に係る意見交換、今後の取

り組み方についての協議を行った（出席者； Dr. Pawab-
ut, Deputy Permanent Secretary, Dr. Sanguan
Director Health Planning Division他および調査
団全員）

午後； ミニッツ署名

12月 1 (木) 日本大使館およびJICA事務所に報告
2 (金) バンコク発 → 東京着

(2) 調査内容

家族計画プロジェクトのターゲット地区は母子保健、家族計画水準が低いウボン県に設定し、後方支援基地としてコンケン県を位置づけ、ウボン県は組織体制に弱い側面を持つので今後行政能力を高めるべくインプットが必要である。コンケン県は先進地域であり、ウボン県に対して技術援助を行うことが効果的である。また、コンケン県では保健情報システムの構築を通してウボン県に対してばかりでなく全国的な牽引車として中進国レベルの保健活動をなしうると考えられるので、この分野についてパイロット地区としてプロジェクト協力を行うことが適切と思料される。

人口家族計画プロジェクトの具体的な投入はIEC分野を始め、医療機器、コンピュータ、地域活動用器材等が中心になると考えられるが、これらを用いてのプログラム設計、マネジメント能力が十分でないと思われるので日本側からコーディネータ1名、長期専門家2名（チームリーダーの他1名）を投入することが望ましい。

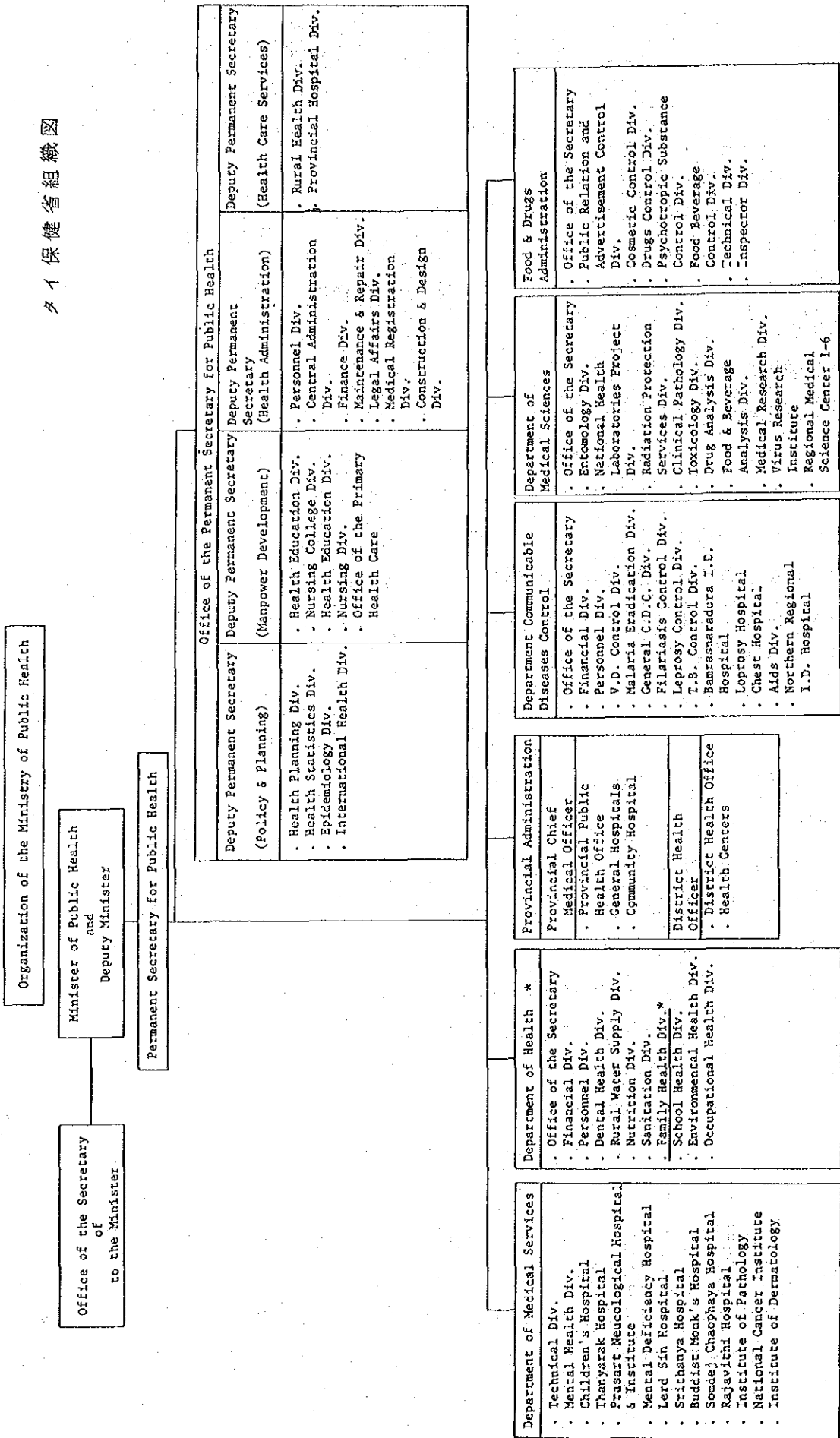
従って、中堅技術者養成は家族計画・母子保健の専門分野およびヘルスマネジメントに関する内容を盛り込む必要があると考える。

以上の活動が実効を伴うためには地域の医療保健機関、住民活動の具体的実情を把握する必要があり、それぞれの当該組織が十分に機能を発揮できるようプロジェクト設計、推進することが望まれる。従って、日本側専門家、タイ国政府、タイ国の然るべき研究機関との共同調査・モニタリングチームを編成することが望ましい。

なお、タイでは最近エイズが大変深刻な問題となっており、地方からバンコクへの出稼ぎ労働者が多いため地方へのエイズ伝播が急速に進んでいると伝えられている。従って、本プロジェクトとしてもエイズ問題に一定の配慮を示す必要がある。ちなみに9月1カ月間にマヒドン大学で出産した200名の新生児のうち3名がエイズに感染しているとの情報を得た。

中央省庁レベルでは行政組織上、業務分担、関心を持つ内容等が異なるので公衆衛生プロジェクトと調整には困難が伴うが地方レベルでは業務遂行上両プロジェクトは内容的に不可分なので協力体制を組織することは可能であると思料される。

タイ保健省組織図



Organization of the Ministry of Public Health

Minister of Public Health and Deputy Minister

Permanent Secretary for Public Health

Office of the Permanent Secretary for Public Health

Deputy Permanent Secretary (Policy & Planning)	Deputy Permanent Secretary (Manpower Development)	Deputy Permanent Secretary (Health Administration)	Deputy Permanent Secretary (Health Care Services)
<ul style="list-style-type: none"> Health Planning Div. Health Statistics Div. Epidemiology Div. International Health Div. 	<ul style="list-style-type: none"> Health Education Div. Nursing College Div. Health Education Div. Nursing Div. Office of the Primary Health Care 	<ul style="list-style-type: none"> Personnel Div. Central Administration Div. Finance Div. Maintenance & Repair Div. Legal Affairs Div. Medical Registration Div. Construction & Design Div. 	<ul style="list-style-type: none"> Rural Health Div. Provincial Hospital Div.

Department of Medical Services

- Technical Div.
- Mental Health Div.
- Children's Hospital
- Thanyarak Hospital
- Prasart Neurological Hospital & Institute
- Mental Deficiency Hospital
- Lerd Sin Hospital
- Srichanya Hospital
- Buddist Monk's Hospital
- Somdej Chaophaya Hospital
- Rajavithi Hospital
- Institute of Pathology
- National Cancer Institute
- Institute of Dermatology

Department of Health *

- Office of the Secretary
- Financial Div.
- Personnel Div.
- Dental Health Div.
- Rural Water Supply Div.
- Nutrition Div.
- Sanitation Div.
- Family Health Div.*
- School Health Div.
- Environmental Health Div.
- Occupational Health Div.

Provincial Administration

- Provincial Chief Medical Officer
- Provincial Public Health Office
- General Hospitals
- Community Hospital
- District Health Officer
- District Health Office
- Health Centers

Department of Communicable Diseases Control

- Office of the Secretary
- Financial Div.
- Personnel Div.
- V.D. Control Div.
- Malaria Eradication Div.
- General C.D.C. Div.
- Filariasis Control Div.
- Leprosy Control Div.
- T.B. Control Div.
- Banarasnadura I. D. Hospital
- Loptosy Hospital
- Chest Hospital
- Aids Div.
- Northern Regional I.D. Hospital

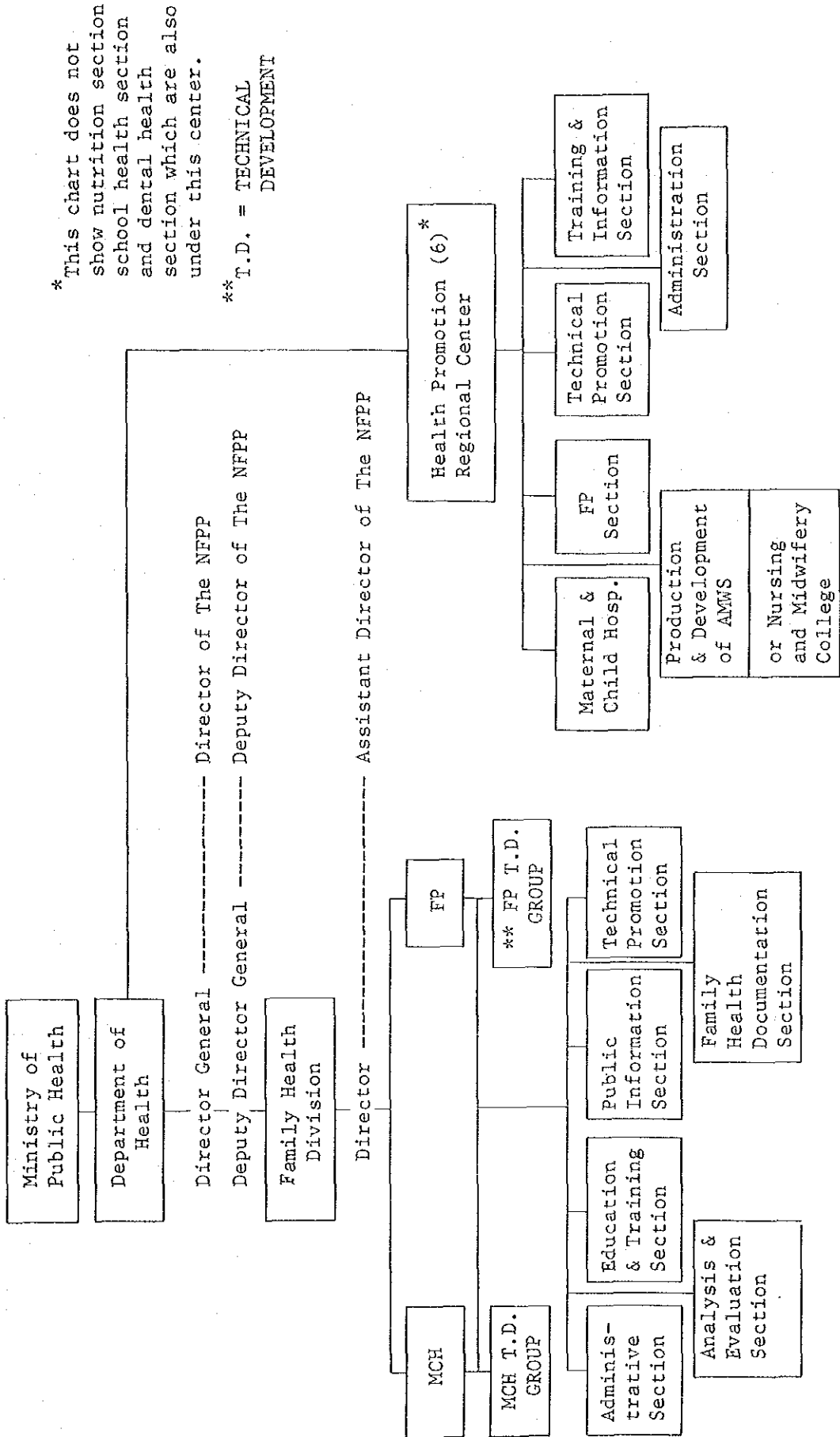
Department of Medical Sciences

- Office of the Secretary
- Entomology Div.
- National Health Laboratories Project Div.
- Radiation Protection Services Div.
- Clinical Pathology Div.
- Toxicology Div.
- Drug Analysis Div.
- Food & Beverage Analysis Div.
- Medical Research Institute
- Virus Research Regional Medical Science Center 1-6

Food & Drugs Administration

- Office of the Secretary
- Public Relation and Advertisement Control Div.
- Cosmetic Control Div.
- Drugs Control Div.
- Psychotropic Substance Control Div.
- Food Beverage Control Div.
- Technical Div.
- Inspector Div.

タイ保健省保健局家族保健課組織図
ORGANIZATION OF FAMILY HEALTH DIVISION, DEPARTMENT OF HEALTH

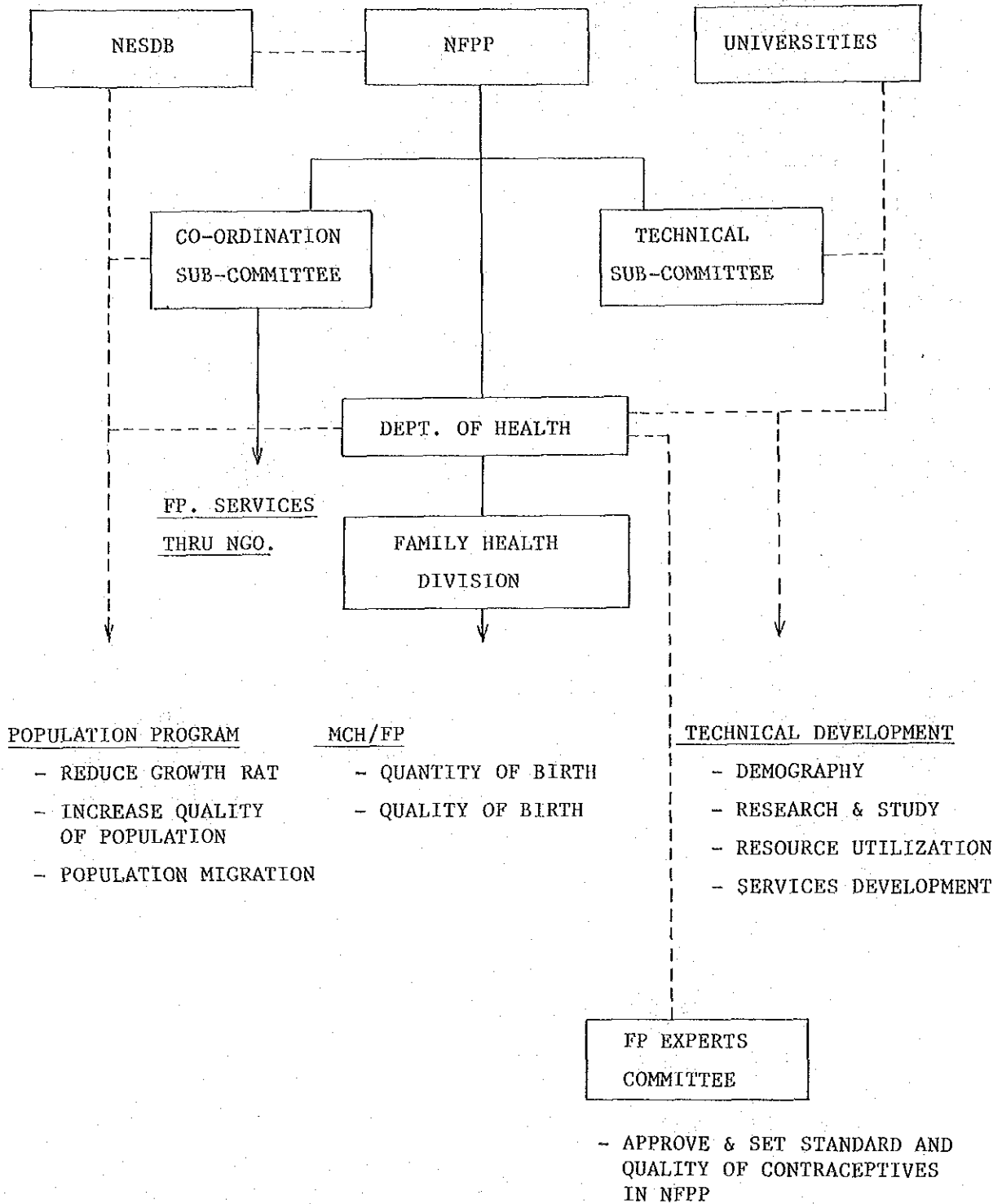


* This chart does not show nutrition section school health section and dental health section which are also under this center.

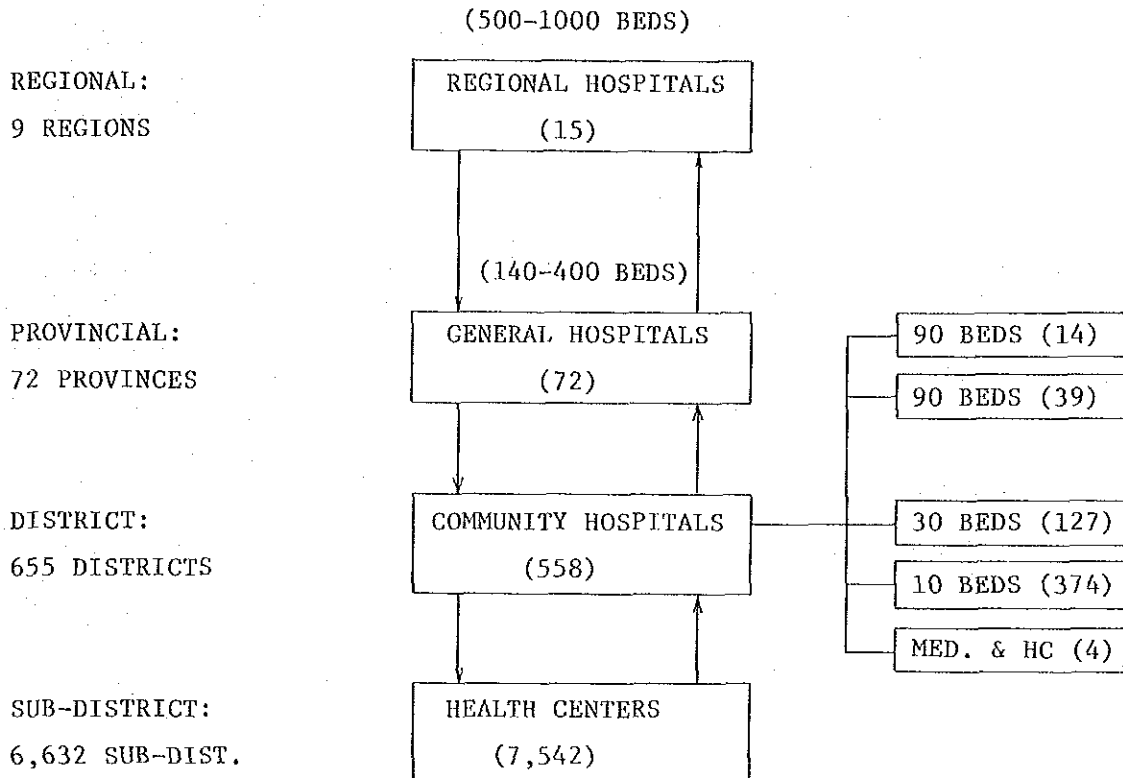
** T.D. = TECHNICAL DEVELOPMENT

国家家族計画実施機構図

RESPONSIBLE ORGANIZATIONS FOR THE NFPP



MOPH FACILITIES AT
PROVINCIAL LEVEL (1982)



VILLAGE: VHV 53,498
59,359 VHC 510,286

TOTAL SERVICE UNITS = 8,181

Note: VHV = Village Health Volunteer
VHC = Village Health Communicator

Source: Division of Rural Health, 1987

3. その他

(1) タイ国国家保健計画

第6次国家保健計画 1987年～1992年

第7次国家保健計画 1992年～1997年

第8次国家保健計画 1997年～2002年(ドラフトは1995年に作成)

(2) コンケン県(KHON KAEN PROVINCE)の概要

ア. バンコク～コンケン間の距離 445 km (☑東京～米原間に相当)

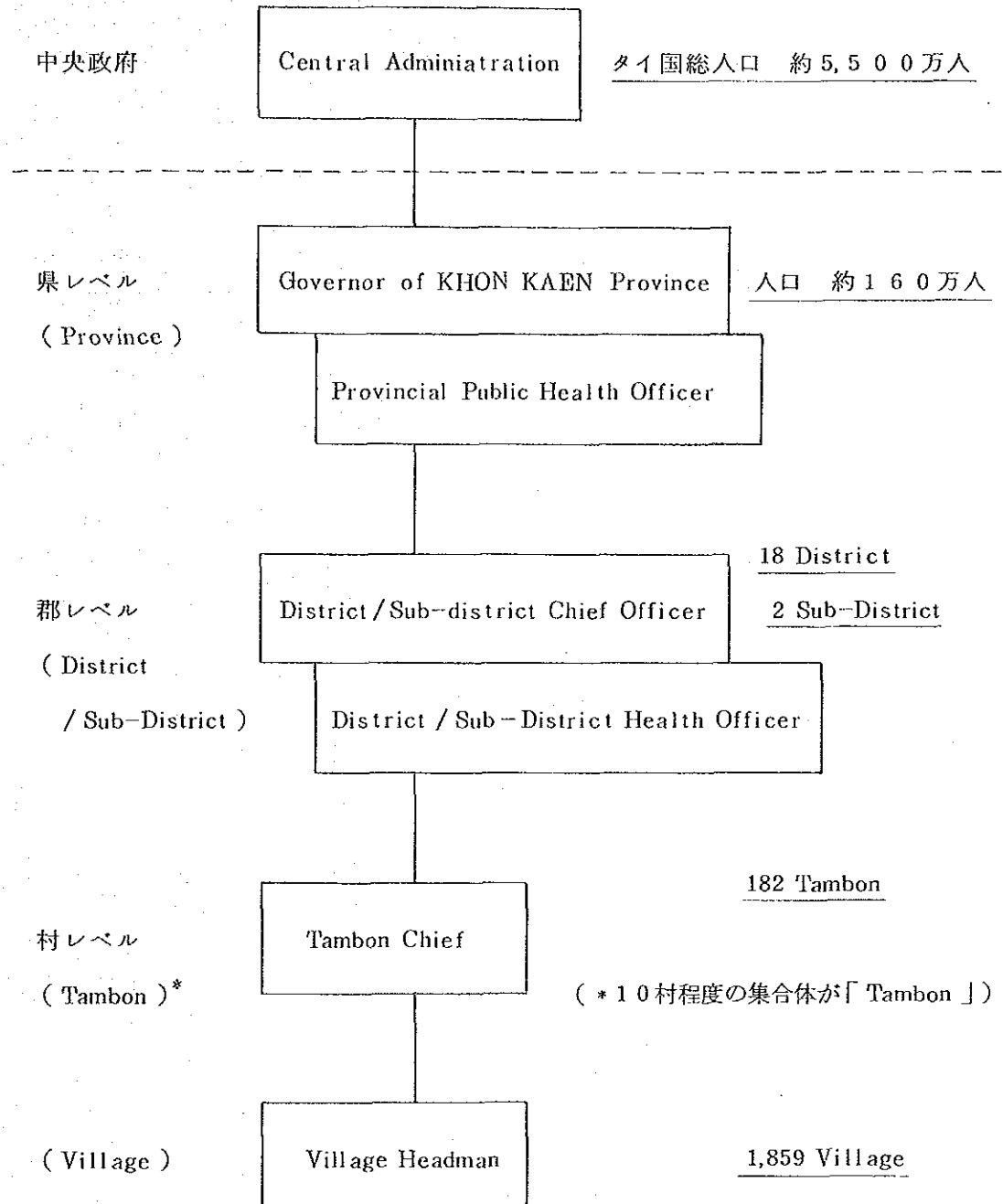
イ. 面積 : 13,404 km² (☑東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県^の総面積に相当)

ウ. 人口 : 1,653,536人(1989年) (☑札幌市に相当)

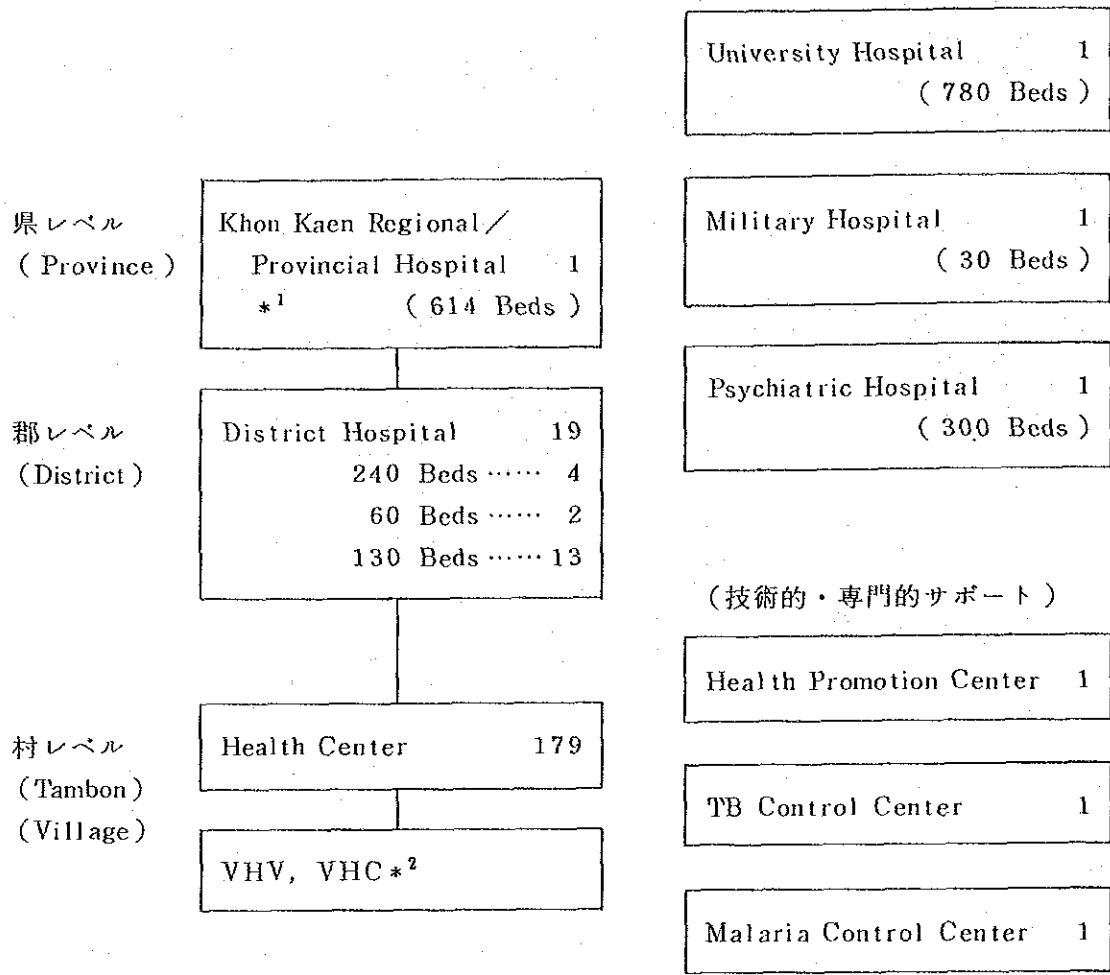
エ. 人口密度 123人/km² (☑島根県に相当)

オ. 平均収入(1988年) 16,506 BAHTS/年(約94,000円)

(3) コンケン県の行政組織



(4) コンケン県 (KHON KAEN PROVINCE) の医療システム



*¹ コンケン県は、東北タイ地方 (Region) の中心でもあるため Regional Hospital も兼ねる。

*² VHV : Village Health Volunteer

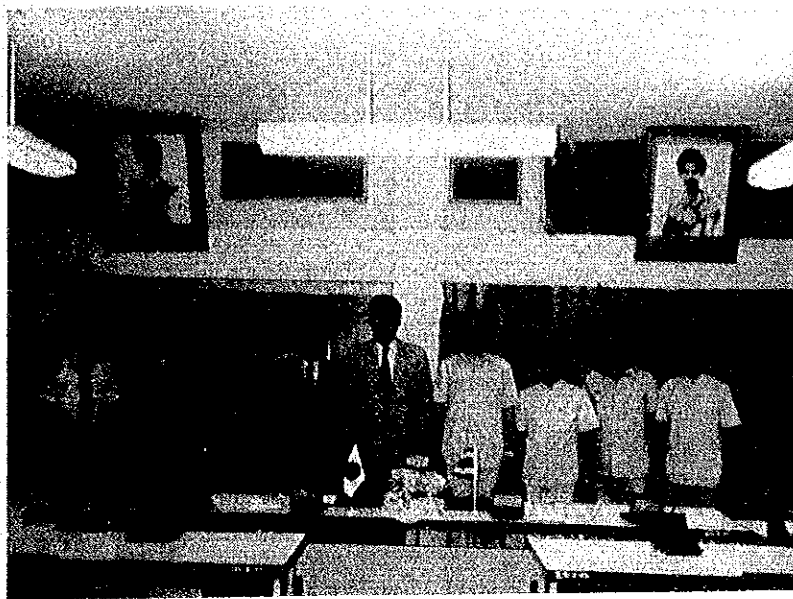
VHC : Village Health Communicator

原則として、VHVは各村から1名、VHCは10家族から1名、各村の推薦で選ばれ、簡単な初期医療(薬の投与等)や受け持ち地区の住民の死亡、出産等の情報を保健所に伝えること、逆に保健所からの伝達事項を住民に伝えること等に従事する。彼等は1~2週間の研修を受けてから任命される。また、VHV、VHCは無報酬であり、自分の仕事の合間にVHV、VHCとしての業務を行う。(ただし、本人は医療費免除の特権を受けられる。)

4. 別 添 資 料

- (1) 関連写真
- (2) 主要面談者リスト
- (3) Minutes of Meetings
- (4) タイにおける家族計画概要
- (5) Health Statistical Report of Ubolratana District
- (6) プロジェクト方式技術協力要請書

(1) 関連写真



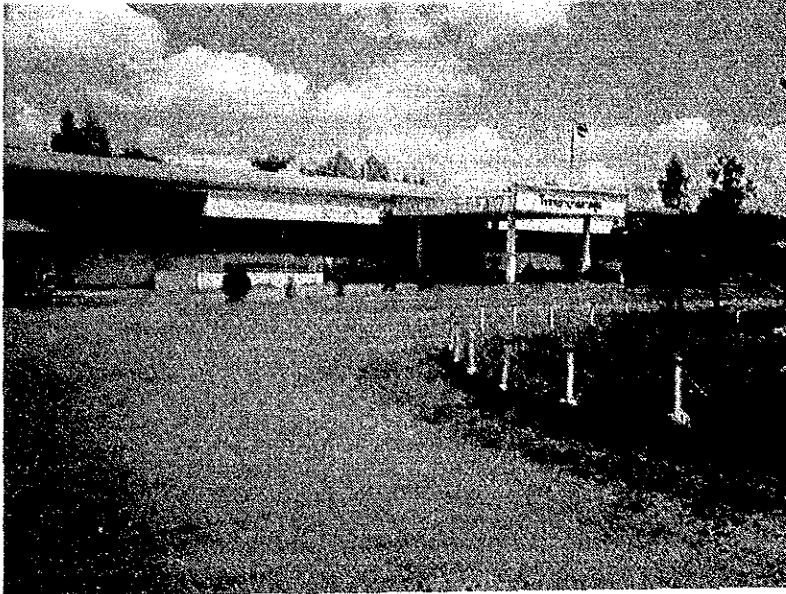
タイ保健省にて
ミニッツの署名・交換
左から宮本JICA事務所員、
森谷、中川、丸井の各団員、
林団長、Mungkandi 局長、
2人おいてNiyonwan家族保健
課長



コンケン Health
Promotion Center
(同センターにおいては、
家族計画、母子保健、栄養改
善等の事業を行っている)



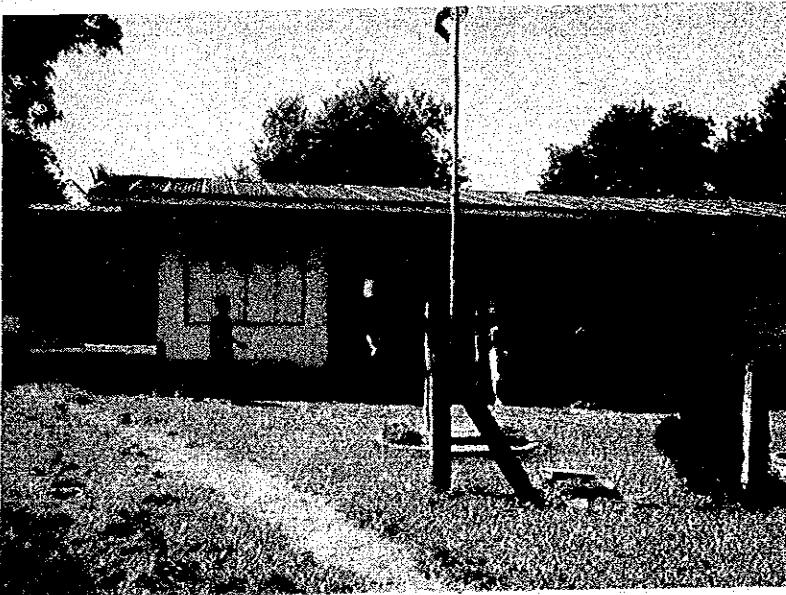
同 上



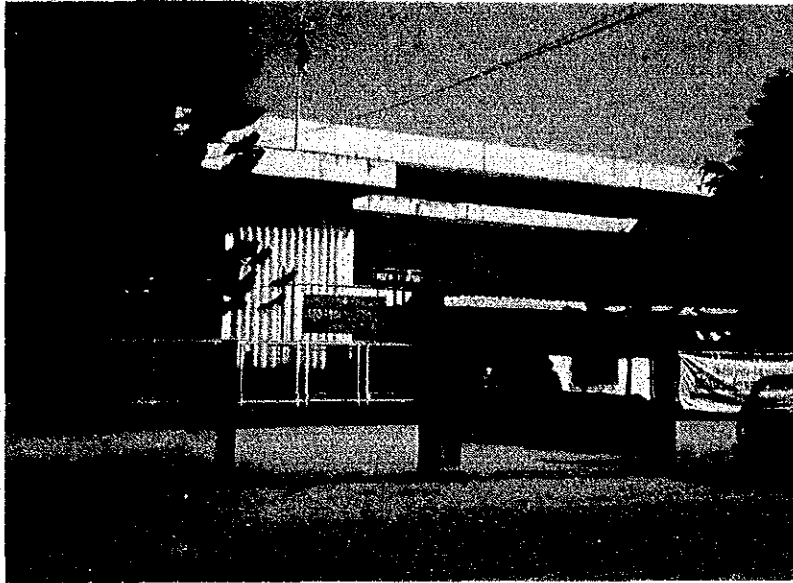
District Hospital
(コンケン郊外)



同 上



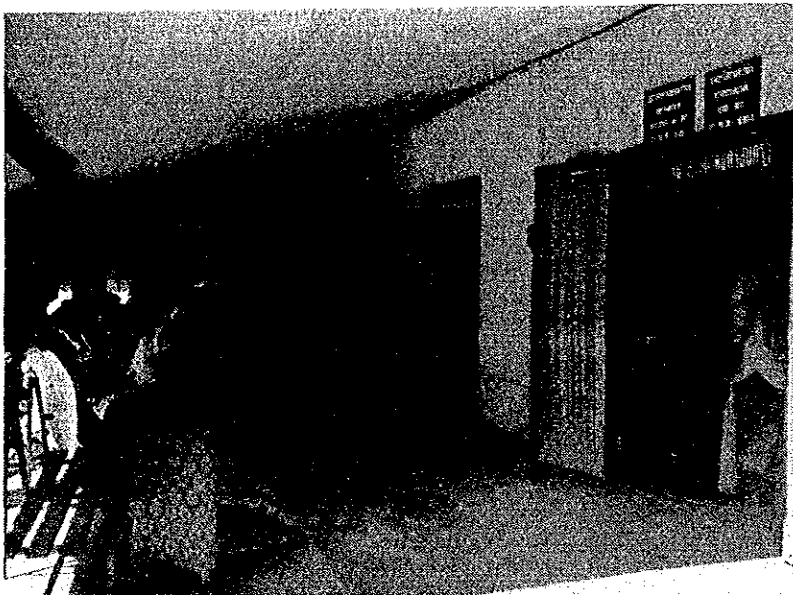
Health Center
(コンケン郊外)



ウボン
Provincial Public
Health Office



同 上



同 上

(2) 主要面談者リスト

ア. Ministry of Public Health

Department of Health

- Dr. Dhatchai Mungkandi, Director-General
- Dr. Vira Niyonwan, Director, Family Health Division
- Dr. Nanta Auamkul, Chief, Family Planning Technical Development Group, Family Health Division
- Mr. Sanit Maprachaub, Chief, Information Section, Family Health Division
- Ms. Patma
- Ms. Rachaneewan Sirinawin, Staff, Information Section, Family Health Division

Office for the Permanent Secretary for Public Health

- Dr. Pichit Pawabut, Deputy Permanent Secretary
- Dr. Sanguan, Nitayarumphong Director, Health Planning Division
- Dr. Porntep Siriwanarangsun, Chief, Budgeting and Programming, Health Planning Division
- Dr. Suniya Wongkongkathep, Chief, Planning Section, Rural Health Division
- Dr. Somsong Rugpoa, Director, Office of Primary Health Care
- Mr. Chadchai Matachanok, Chief, Planning and Evaluation Section, Primary Health Care Office

イ. Dr. Aaypom, Director, Health Promotion Center, Khon Kheng

ウ. 日本大使館 長門利明二等書記官

エ. 国際協力事業団 タイ事務所 阿部信司 所長